

首座主教会議コミュニケ

(2021年11月22日～23日)

2021年11月22日と23日、アングリカン・コミュニオンの首座主教・総裁主教および代表者が世界中から参加するオンライン会議が行なわれました。

首座主教会議は、アングリカン・コミュニオンにおける4つの器の一つであり、首座主教たちが交わりと祈りの中で共に時間を過ごし、互いに相談することができる場です。最後の対面による会議は2020年1月にヨルダンで開催され、オンラインでの会議は2020年11月以来となります。

私たちは今回の集いを、ポリネシアのフェレイミ・カマ大主教が7月に逝去されたことを憶え、祈ることから始めました。アレクサンドリア、ブルンディ、アンゴラ・モザンビーク、パキスタン、フィリピンから新しい首座主教が迎えられました。また、アレクサンドリア、アンゴラ・モザンビークに新管区が発足したことを共に喜びました。

世界がCOVID-19によるパンデミック、そして緊急性を増す気候変動の緊急事態の双方に直面したこの1年間に、それぞれの教会と国が経験したことを互いに分かち合いました。世界中の教会が、イエス・キリストの弟子として、この困難な時期を通じて人びとの求めと苦しみに応えてきたことは、まさに喜ばれるべきことです。しかし、世界と人類が直面している様々な課題は依然として存在しており、それゆえに教会は懸念を表明します。首座主教として、私たちはこれらの問題によって影響を受けている人々のために祈り、耳を傾け続け、この困難な時期においてその人々を支援するという共通のコミットメントを共有していきます。

COVID-19によるパンデミックは、世界の貧富の差を露わにし、深めてしまいました。これは、ワクチンの不平等な分配に顕著に表れています。私たちは、単なる慈善的な精神ではなく、現在の格差を解決するために共通の利益を認識するという精神に基づいて、ワクチンの公平性を高めることを一致して求めます。持てる人から持たざる人への寛大さを求め、パンデミックが健康や教育に与える影響をより深刻に認識することを求めます。

私たちアングリカン・コミュニオンの首座主教は、11月29日から12月1日まで開催される世界保健機関（WHO）の特別総会において、世界的な保健緊急事態への備えと対応に関する国際協定および条約の計画を大胆かつ勇気をもって取り組むこと、そしてワクチンの配布における公平性と接種への躊躇に対応するための教育の双方に取り組み、改善することを求めます。

現在進行している「気候変動の緊急事態」は、世界と人類に影響を与え続けています。気候変動は多くの人々にとって進行中のリアルな問題であり、すでに脆弱な立場にある人々に対し、最も深刻な影響を与えていることを私たちは目撃しています。カナダの先住民族が山火事で土地を失い、小さな島国が海面上昇の危機にさらされ、モザンビークなどでは洪水やサイクロンが増大しているという証言を聞いています。ジャスティン・バディ・アラマ大主教は、気候変動の影響で国土の半分が水没したこともある南スーダンでの壊滅的な洪水被害について話してくださいました。

先日グラスゴーで開催された COP26 サミットには、アングリカン・コミュニオンから代表団が参加しました。公式に COP 会議に参加したのは初めてのことでした。私たち首座主教は、気候危機に対する世界の対応は全く不十分であるという、代表団が提示した方針への支持を新たにします。世界の国々や政府に対し、地球の気温上昇を抑えるための努力を更に強め、低炭素社会への移行を可能にし、かつ加速させるための公正な金融資源を提供するよう求めます。また、宗教指導者たちに対しても、緊急かつ大胆な気候変動対策を提唱し、破壊的な態度や行動ではなく、神の被造物に対する責任あるケアへと精神を変革することを呼びかけます。

私たちは、アングリカン・コミュニオン科学委員会の発足を歓迎します。科学は人間が神の被造物を正しく理解するための知識となり、信仰による知恵は科学的な成果を公益に集中させることにつながるため科学分野においても役立つでしょう。私たちは、アングリカン・コミュニオンの新しい科学委員会に課せられた重要な役割を支援することを約束します。気候変動やワクチン分配のような地球規模の問題に対応するため、教会が科学分野とどのように協働していくかは、21 世紀の世界における教会に課せられたミッションの主要な部分を占めることになるでしょう。

首座主教たちは、2022 年 7 月と 8 月にカンタベリーで開催されるランベス会議を楽しみにしています。2021 年の間、私たちは、進行中のランベス会議「主教対話」を通じ、コミュニオン中から姉妹兄弟である主教たちと知り合うことができ、大きな恩恵を受けています。これらのオンライン・ミーティングは、ランベス会議に向けた傾聴の一段階として大切な役割を果たしています。私たちは、2022 年の「紛争地域における宣教」シリーズを通じて継続的な議論が行われることを期待しています。

また、2022 年 7 月 27 日から 8 月 8 日までカンタベリーで予定されている様々なイベントでお会いできる機会を楽しみにしています。一人でも多くの方が、アングリカン・コミュニオンの一員として人生におけるこの重要なイベントに参加してくださいを願っています。なお、旅行に不安のある方のために、会議の一部はオンラインでご覧いただけます。皆様が一堂に会し、すべての声を平等に聞くことができるように、あらゆる努力をしています。

次回の首座主教会議は、2022 年 3 月にローマで開催される予定です。